保育園のご紹介

【基本情報】

名　　称：　アスク曽根南保育園

住　　所：561-0804

　　豊中市曽根南 1-1-1

電話番号：06-6867-6055

【入所定員】60 名

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
定員	15 名	24 名	24 名	0 名	0 名	0 名

※対象年齢　生後５７日～２歳児

【開所時間（延長保育時間含む）】

月曜日～土曜日

●保育標準時間認定（11 時間）

（通常保育時間）7：00～18：00

（延長保育時間）18：01～19：00

●保育短時間認定（8 時間）

（通常保育時間 9：00～17：00）

（延長保育時間）7：00～8：59　　17：01～19：00

●閉園日　日曜日・祝日・年末年始（12-29～1/3）

【保育事業内容】

月極保育・延長保育・障がい児保育

【主な保育プログラム】

クッキング保育、体操教室、英語教室

【その他】

駐輪場：無　　駐車場：　無

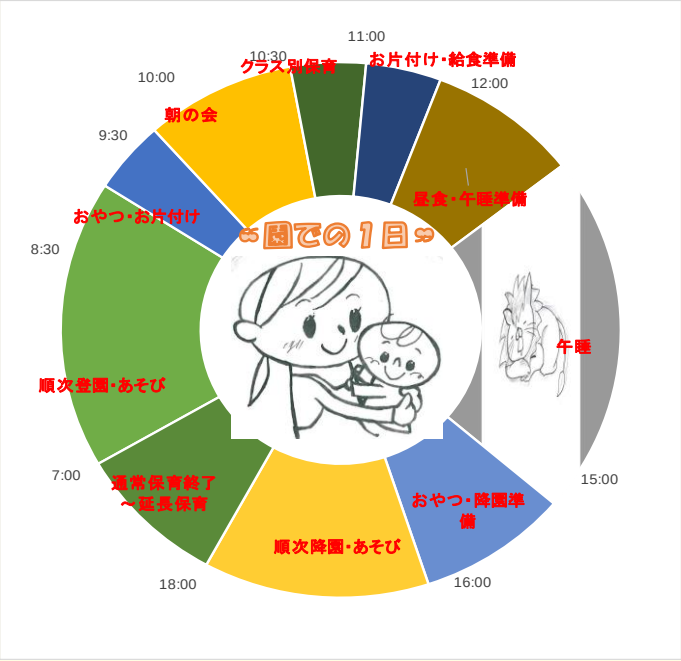
園庭　：有　ベビーカー置き場：有

【入所申込および保育料】

・入園のお問い合わせは、豊中市子ども未来部　子育て給付課　入所入園係までお願いします。（06-6858-2252・2253）

・保育料については、豊中市が定めた額となります。

保育園での一日



●保育園の様子●

年間行事予定

アスク曽根南保育園では季節を感じられるイベントを計画し、子どもたちの楽しい想い出づくりのお手伝いをしています。

4 月	5 月	6 月
★入園式	★個人懇談	●内科検診 ★給食試食会 ★参観 ●防犯訓練
7 月	**8 月**	**9 月**
●水遊びスタート ●七夕 ●歯科検診	★夏祭り	●内科検診
10 月	**11 月**	**12 月**
★運動会 ●ハロウィン	●内科検診 ★参観・クラス懇談会	★クリスマス会 ●防犯訓練
1 月	**2 月**	**3 月**
★個人面談	●豆まき ★生活発表会	●お別れ会 ●交流会 ★修了式 ●内科検診

★は親子参加型の行事です。上記予定については一部変更の可能性もあります。

お誕生会・避難訓練・身体測定・園庭開放は毎月実施します。

●よくあるご質問●

Q. 保育中の体調不良時の対応は？

A. 発熱、園で嘔吐・下痢、顔色が優れない、食欲がない、元気がない等、集団保育が難しいと判断した場合はお迎えをお願いすることがありますので、ご協力をお願いしています。

Q. 慣れ保育はどのくらいの期間実施するの？

A. お子様の状況・様子を見ながら徐々に保育時間を延長し、お子様が少しずつ環境の変化に順応していく事が望ましいです。実施期間についてはお子様によって様々ですので、入園前面談や入園後の様子を見て担任とご相談いただきます。

Q. 保護者会はありますか？

A. 保護者会はございませんが、行事前のお手伝いや園での連絡がある場合は運営委員会として開催することがあり、又、保育参観後、保護者同士の意見交換の場としてクラス懇談会を設けております。卒乳や、入眠など様々な子育ての悩みや喜びを共有されています。

Q. 散歩はどこに行きますか？

A.　主に豊島公園内のキノコ広場やどんぐり広場で散策活動を楽しんだり、川にやってくるカモを観察したり、季節の木の実を集めたりなど四季折々の遊びを楽しんでいます。消防車や、ウルトラマンのオブジェを見に行ったり、ビオパークに足を伸ばすこともあります。

アスク曽根南保育園の園目標

「生きる力を育む」

「豊かな感性を育む」

集金させていただくもの

●カラー帽子（1・2 歳児）

たれなし　640 円/個

たれあり　1050 円/個

●体操教室（1・2 歳児　希望者のみ）・・・523 円/回

●英語教室（2 歳児　希望者のみ）・・・523 円/回

●写真販売（るくみー）　　個人での登録で購入

●IC カード（紛失時）・・・1000 円/枚

※このほかに紛失時のみの購入品があります

乳児のみの保育園ですが毎日かわいい声が園内に響いています。年齢に応じた行事も行っていますので楽しみにしていてください。

園ブログもチェック
してみてください！

事業者 | 株式会社日本保育サービス
https://www.nihonhoiku.co.jp/

アスク曽根南保育園

ご案内

阪急電車の線路添いにある 0 歳児から 2 歳児までの保育園です。

保育室から阪急電車が見え、伊丹空港も近く飛行機も見え子ども達も喜んでいます。自然豊かな豊島公園がすぐ横にあり、木々や草花で季節を感じたり、散策をしたり、運動遊びを通して五感を養い豊かな感性を高められる保育を心がけています。

親子共に安心できる環境の中で、子育ての大変さや楽しさを共有しながら大切な時間を一緒に過ごし成長を見守っていきたいと思います。

株式会社日本保育サービス